

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【歴史博物館, 旧新潟税関庁舎等】

施設名	新潟市歴史博物館, 旧新潟税関庁舎等		
管理者名	(公財) 新潟市芸術文化振興財団	指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日
担当課	歴史文化課		
所在地	新潟市中央区柳島町2-10ほか		
根拠法令	博物館法, 文化財保護法		
設置条例	新潟市歴史博物館条例, 旧新潟税関庁舎等管理条例		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市歴史博物館 敷地面積 22,769.23㎡(旧新潟税関庁舎等含む) 施設 博物館本館(延床面積5,508.30㎡): 常設展示室, 企画展示室, 体験の広場 他 登録有形文化財旧第四銀行住吉町支店(延床面積919.50㎡) 屋外施設: 広場, 堀, 園路, 駐車場他 ・旧新潟税関庁舎等 施設 重要文化財旧新潟税関庁舎(延床面積393.38㎡), 石庫, 史跡旧新潟税関 		

施 設 設 置 目 的
新潟市域の歴史的特性を明らかにし, 市民の歴史に対する理解を深めるとともに, 歴史を媒介とした市民交流を行うことにより, 市民の社会的活動及び文化的活動に寄与することを目的として設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 , 方 針 等
<p>1. 基本理念</p> <p>資料の収集・保存や調査・研究によって新潟市の歴史的特性を明らかにし, 展示や普及活動を通じて情報を発信する。そして, 市民とともに地域認識を深め, 市民に歴史や文化を題材とした多様な活動の機会や場を提供する。また, 市民や利用者が, 地域や博物館の情報や歴史資料に対して抱く疑問や意見について受け止め, 博物館を市民や利用者との情報交換や交流を通じて新たな歴史を発見する場とする。</p> <p>2. 管理運営方針</p> <p>①新潟市域の歴史的特性を明らかにする。 ②市民の歴史に対する理解を深める。 ③歴史を媒体とした市民交流を行う。 ④市民の活動に寄与する。 ⑤文化財を保存・活用する。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
	年間入館者数	博物館本館への年間入館者数79,000人以上	61,151人	C	新型コロナウイルス感染症により来館者数が少なくなった。(4/20~5/10臨時休館実施)
	企画展事業の実施	館オリジナルの企画展を年4本以上実施	6本	A	限りある財源の中, 工夫を凝らし入館者増に努めている。(年5本実施予定だったが, 1本追加で開催した。)
	教育普及事業の実施	歴史に関する講演・講座等を年40回以上実施	42回	A	
		体験プログラムを年55件以上実施	60件	A	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	施設普及事業の実施	収蔵資料の公開を年3回以上実施	5回	A	指標を上回る回数実施した。
		近隣地域と連携した普及活動を年3回以上実施	1回	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントが中止となった。
	学校との連携	施設訪問への対応や出前授業・講義など、各種学校との連携事業を年90回以上実施	110回	A	指標を上回る回数実施した。
	歴史文化事業の情報発信	ホームページ等の情報発信を月4回以上行う	HP 2.8回/月、ツイート 21回/月	A	情報発信に力を入れ、特にツイッターにおいて指標を上回る回数更新した。
		展示図録を年2回以上発行	発行した図録 ①いっぴんー学芸のおすすめの品 ②湯のくらし	B	
		博物館だよりを年3回以上発行	3回	B	
		研究紀要を年1回発行	1回	B	
	来館者アンケート満足度	来館者に対するアンケートで、「良い」「とても良い」が70%以上	91.8%	A	来館者に対するきめ細やかな対応が高評価に繋がった。今後も顧客ニーズを把握し、親切的な対応を心掛けてほしい。
	市民からの問合せに対する対応	歴史に関する質問・問合せ年100件以上対応	年間800件以上（毎日ライブラリーほか電話・メール等対応あり）	A	問い合わせがあった場合はきめ細かく対応している。
	苦情・要望に対する対応	来館者からの苦情・要望に対して、3営業日以内に回答	3営業日以内に迅速対応	B	
その他	博物館ファンクラブ会員数を150人以上	R2.9月末時点146名	C	ファンクラブの会期は10/1～9/30。各種講座等で周知を図り努力はしているものの、目標を達成できなかった。	
	博物館ファンクラブ会員の活動件数を年7件以上実施	8件	A	積極的に活動した。	
財 務	管理経費の削減	管理経費を指定管理料年度協定額（管理費）以下	協定額 210,739,000円 管理経費 208,679,183円	A	経費の削減に努め、協定額以下に納めた。
	市の歳入の安定確保	歴史文化事業費の執行額に占める観覧料等収入の割合35%以上	36.8%	A	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
業 務	他施設・機関との連携	他施設・機関との協議や資料収集・借用などの連携回数を年15回以上実施	21回	A	
	日常連絡の適切さ	市との連絡会議月2回以上参加	月2回以上参加	B	
		3か月毎の管理業状況報告の期限内提出	期限内に提出	B	
	安全確保体制の確立	防火管理者の選任及び防災訓練を年2回以上実施	6/26、12/18に実施	B	
	文化財の適正な管理	条例、規則、協定に基づく適正な管理の実施	実施した	B	
		旧新潟税関庁舎等管理条例施行規則に基づく監守業務の適正な実施	実施した	B	
	歴史資料の適正な管理	施設内でのくん蒸を年1回以上実施	7/5～7/7に実施	B	
		展示室収蔵庫内の温湿度の定期調査を実施	毎日実施	B	
	施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の年1回実施	オンライン（10/20～11/15）で全職員が受講した	B	
		施設設備関係の各種法定点検の確実実施	建築物における衛生的環境の確保にかかる法律、消防法等にかかる法定点検を実施	B	
事件・事故発生時の対応の適切さ	マニュアル・連絡網の定期的な見直し（半期に1回）	都度更新	B		
業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B		
人 材	配置人員条件の充足	学芸員有資格者を7人以上配置	9名（3/31時点）	A	指標を上回る人員を配置している。
	職員研修の実施	専門員及び事務職員に対する研修を年6回以上実施	3回（コンプライアンス研修除く）	C	新型コロナウイルス感染症の影響で開催されなかった研修があり、指標は達成できなかった。
	接遇マナーの維持・向上	受付職員等への接遇研修を年1回以上実施	2/26に実施	B	

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

令和元年度から続いている新型コロナウイルス感染症の影響で、臨時休館、講座、地域とのイベントが軒並み中止となり、入館者数をはじめ目標指標を達成できなかった項目がいくつかあったものの、来館者アンケート満足度は91.8%と充実した運営だったことが伺える。また、コロナ禍のため県外からの観光客の入館者は望めない状況ではあったが、1月に企画展「しるね紋じ」展を追加で開催し、新潟市無形文化財を紹介、入館者数増に貢献した。施設管理の面では、開館から17年経ち、引き続き修繕費がかさむことが予想されるが、施設をできるだけ長く使えるよう、引き続き日常管理を適切に行っていききたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）

新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数が目標には届かなかったが、極端な減少率ではないと考えられる。（前年度比66%）小中学生による団体利用が増えたことが要因としてはあるが、企画展の追加やツイッターなどの情報発信、「おうちみなどぴあ・おうちみゅーじあむ」などのホームページの充実など、限られた財源の中で入館者増に対する工夫・努力が伺えた。来館者アンケート満足度が高かったことから、感染防止対策を実施した上で充実した展示内容や施設管理が行われていたことが分かるため、評価に値すると考えられる。今後も感染防止対策を行いながら、特色ある企画展の開催や講演・講座の開催、市民交流の場を提供するなど、市民文化の向上と地域の活性化に役立ってほしい。施設の老朽化が進んでいることから、安全面には特に注意し、適正な維持管理を行ってほしい。

評価基準

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。